

# 第5回「サイバーセキュリティセミナー」ご案内

拝啓 皆様におかれましては、ますますご清祥の段、お喜び申し上げます。  
また、平素は格別のお引き立てを賜り、心より厚く御礼申し上げます。

2015年12月28日に、経済産業省が「サイバーセキュリティ経営ガイドライン」を策定しています。  
ここで、サイバーセキュリティリスクの把握と実現するセキュリティレベルを踏まえた目標と計画の策定を行うことが求められており、「多層防御の導入や情報資産別のネットワークの分離等」の検討が推奨されています。

本セミナーは、今後のサイバーセキュリティ経営の実現に向けて検討するべき「多層防御措置」に関して、ログの活用と分析、未知のマルウェアの検知、ルータによる異常検知とゾーニング、ネットワークフォレンジックなどを組み合わせた多層防御の考え方について、解説させていただきます。

敬具

トーテックアメニティ株式会社

## 記

### 「サイバーセキュリティセミナー」

日時	2016年7月15日(金) 14:00- 17:00(予定) (13:30受付開始)
場所	大崎・ゲートシティホール「ホールA」 ゲートシティ大崎 地下1階/JR各線・りんかい線「大崎駅」(南改札口)より徒歩1分
主催	トーテックアメニティ株式会社
費用	無料
内容	<p><b>共通テーマ：サイバーセキュリティ経営と多層防御</b></p> <p><b>1)【基調講演】</b> インシデント対応におけるログ採取の重要性は多くの組織で認識されています。高度サイバー攻撃に対しても、特徴的なログを適切に採取し分析することで、侵入や攻撃の影響範囲を捉えられる可能性があります。高度サイバー攻撃は、従来型の攻撃に対する防御・検出だけでは完全に防ぐことができず、攻撃を受けて侵入されることも想定した上で、いかに早く異常に気づき対処できるかが成否の分かれ目となります。本講演ではJPCERT コーディネーションセンターが、2015年11月に発表した、「高度サイバー攻撃への対処におけるログの活用と分析方法」の解説を行うとともに、高度サイバー攻撃への備えと対処について解説を行います。 講師： 洞田 慎一氏(一般社団法人JPCERTコーディネーションセンター 早期警戒グループ マネージャ)</p>
	<p><b>2) テーマ【未知のマルウェアの検知と防御】</b> 最近の脅威動向を解説し、未知のマルウェアの検知と防御がさらに重要となっている現状を説明します。対策としてエンドポイントの対策に加えて、サンドボックス技術の活用方法を解説します。 講師： 金居 良治氏(株式会社FFRI 取締役最高技術責任者)</p>
	<p><b>3) テーマ【ネットワークスイッチから支えるセキュリティ】</b> セキュリティ対策とは無縁と考えられがちな LAN スイッチですが、使い方次第で強力な武器となることを御存知ですか？ アプライアンスやエンドポイントソフトの苦手な領域を補う、スイッチならではのセキュリティ対策を解説するとともに、ネットワークフォレンジックス/マルウェア検知の連携によるサイバー攻撃自動防御ソリューションについて紹介いたします。 講師： 小林 春樹氏(アラクサラネットワークス株式会社 マーケティングG)</p>
	<p><b>4) テーマ【ログとネットワークフォレンジックスを組み合わせたサイバー攻撃の分析】</b> ログとネットワークフォレンジックスを組み合わせることで、ログだけでは見えてこない様々なセキュリティ事象が見えてくる。ログとネットワークフォレンジックスを組み合わせた多層防御の実現について解説します。 講師： 藤原 礼征(トーテックアメニティ株式会社 トーテックサイバーセキュリティ研究所 所長)</p>
	<p><b>5) パネルディスカッション</b> テーマ【サイバーセキュリティ経営と多層防御】をテーマに、セキュリティ製品の利用者と提供者の立場から、これからの多層防御について考える。】</p>

## 講師プロフィール



一般社団法人JPCERTコーディネーションセンター(JPCERT/CC) 早期警戒グループ マネージャ  
**洞田 慎一 氏**

前職において大学のシステム管理業務に従事。  
 2015年4月に、JPCERTコーディネーションセンター早期警戒グループ情報分析ラインに着任。  
 2016年4月より現職。  
 情報セキュリティアナリストとして、主に国内を標的としたサイバー攻撃に対する情報収集や分析、早期警戒情報、注意喚起情報の提供などに従事する他、カンファレンス等での啓発活動なども行っている。



株式会社FFRI 取締役最高技術責任者  
**金居 良治 氏**

2007年7月、セキュリティコア技術に関する研究、コンサルティングサービス、セキュリティ関連プロダクトの開発・販売を主事業とする株式会社FFRIを代表の鶴岡と設立。  
 未知のマルウェアを検出する FFR yarai やウェブマルウェア検知システムなどを総責任者として開発。  
 また、P2P 対策製品、組み込みセキュリティ関連製品など複数のセキュリティ製品の開発に従事。  
 マルウェア解析、ソフトウェアの脆弱性脅威分析など多岐に渡る案件を実施。  
 セキュリティ技術者育成コース、リバースエンジニアリングコースの作成、トレーニング講師なども実施



アラクサラネットワークス株式会社 マーケティングG  
**小林 春樹 氏**

1999年の入社当初は、海外ベンチャーのネットワークアプライアンス製品のOEM開発業務に従事。  
 2004年のアラクサラ設立を機に、シャーシ型スイッチのオリジナルASIC開発に携わることになる。  
 その後は開発経験を活かしてマーケティング部門に転進、近年は広告宣伝の責任者として、セミナー講師やイベント企画・運営などでも活躍している。



トーテックサイバーセキュリティ研究所 所長  
**藤原 礼征 氏**

1997年に大阪大学基礎工学部を卒業後、大阪大学大学院基礎工学研究科に進むと同時に会社設立。  
 ソフトウェアアーキテクトとして、ソフトウェアの設計・開発の技術力に内外からの厚い信頼があり、様々な会社や研究機関において、特にサイバーセキュリティに関する研究開発や製品開発に携わる。  
 2012年から、トーテックアメニティが運営する「トーテックサイバーセキュリティ研究所」の初代所長に就任。  
 著書に『サイバー攻撃からあなたの会社を守る方法』(中経出版)がある。

## お申し込み方法

下記Webサイト、QRコードよりお申し込みください。

※満席の場合、弊社と同業社に所属されている方はお断りする場合があります。予めご了承下さい。

<http://www.totec.jp/seminarR/2016/0715.html>

※お電話、E-mailでも受け付けております。下記内容を事務局までお知らせください。

[ 貴社名 / 部署名 / お役職 / お名前 / 郵便番号 / ご住所 / お電話番号 / e-mailアドレス ]

## ●お問い合わせ

サイバーセキュリティセミナー事務局

(トーテックアメニティ株式会社内)

〒141-0032

東京都品川区大崎1-11-1ゲートシティ大崎ウエストタワー21階

TEL:03-5436-2100(受付時間:月~金10:00~17:00(祝日除く))

E-mail esales@totec.co.jp



■ ご案内担当者